

ゆずの栽培って、どんなもの？

「収穫の手伝いだけなら毎年行くけど…」

「せっかく馬路に移住したから、ゆずをやってみたくはあるけど…」

「副収入として興味はあるけど…」

○どれぐらいの所得になる？

○初期投資や肥料など、経費はどれぐらいかかる？

○年間の作業スケジュールは？

身近なようで、意外と分からないことが多いですね。
もちろん農家さんによって個人差はありますが、各項目について大まかなイメージをお伝えします。



まず、年間の収入はどれぐらい？

■ゆず1kgあたりの収入額：約220円

(基本買取額 約150円＋組合員配当 約70円)

※買取額も組合員配当も、年度によって一定変動します。



■柚子園10aあたりの年間収穫量：約2,000kg

ゆずの収穫量は、天候、肥料の加減、樹齢等に左右されるほか、収穫量の多い「表年」、少ない「裏年」が隔年でくると言われています。



■10aあたりの年間収入額：約440,000円

- ・収入から諸経費を差し引きした額が年間所得となります（次ページ参照）。
- ・馬路村のゆず農家の平均栽培面積は30a程度です。

・上記は、搾汁用のゆずを栽培・出荷した場合の試算です。青果のゆず玉を出荷した場合は買取額が大きくなりますが、その分防除等の労力は増します。

初期投資と経常経費の目安

○初期投資

草刈機	¥45,000	ゆず部会員になれば、ゆず部会から1万円の補助あり。
運搬車	¥300,000	村から購入補助あり（補助率40%）。主に収穫期にほ場内でゆずを運ぶときに活躍します。
軽トラック	¥700,000	出荷の際の必需品です。
その他	¥65,000	コンテナ20個、脚立、高枝切鋏、採果鋏、皮手袋、のこぎり（剪定用）、ポテ（肩掛けかご）



他にも色々便利な道具はありますが、ほぼ必須になるものを挙げています。なお、消毒の際に必要な動力噴霧機は、R4年4月から、農協購買で無料で貸出しています。

○経常経費

10a栽培するとした場合に、毎年かかる経費の概算は下記のとおりです。農薬、肥料の使用量は個人差がありますが、農協推奨の量で試算しています。

農薬代	¥23,000	マシン油、Zボルドー、ICボルドー、イオウフロアブル、バイオリサカミキリスリム
肥料代	¥37,000	ゆず園、発行鶏糞、油粕ペレット
燃料費	¥65,000	軽トラガソリン、草刈機燃料
合計	¥125,000	←人を雇った場合は、人件費が加わります。

※農薬の一部と肥料には、村や農協からの補助があり、それらを加味した自己負担額を記載しています。

年間所得は・・・？

収入と経費が分かりましたので、ざっくり所得の計算をしてみましょう。各道具の減価償却も含めて計算するにあたって、耐用年数については、運搬車は7年、軽トラックは10年、草刈機及びその他は5年としています。

■ 10a栽培の場合の年間所得（人を雇わず一人で耕作する場合）
収入440千円 - 減価償却115千円 - 経費125千円 = **100千円**


■ 30a栽培の場合の年間所得
（収穫時に日当1万円で20人役雇い、ハサミ等の消耗品を3倍買った場合）
収入1320千円 - 減価償却160千円 - 経費375千円 - 人件費200千円
= **585千円**

ゆず栽培にかかる補助金・交付金

○補助金

柚子振興事業費補助金	ゆず栽培に必要な農業機械（チェーンソー・運搬車・動力噴霧機・動力散布機・歩行型草刈機・管理機）の購入補助。 補助率：2/5
環境保全型農業推進事業費補助金	カミキリムシの防除資材、バイオリサカミキリスリム購入補助 補助率：村 1/3 農協 1/3 自己負担額 1/3 ※経費の表の価格は、補助を反映した自己負担額
農作物干害対策事業補助金	干ばつ時における農作物を干害被害から守るため、給水ポンプの購入に対して補助する。 補助率：2/5
草刈機購入補助	ゆず部会員が草刈機を購入する場合に、ゆず部会から1万円の定額補助。
肥料購入補助	各種肥料の購入について、農協が補助をしている。 ゆず園：1/2補助 発酵鶏糞・ソイルメーク・油粕ペレット：1/3補助 ※経費の表の価格は、補助を反映した自己負担額

○交付金

果樹支援対策事業	<p>ゆず苗を新植または改植することが対象となる国費の補助金であり、農協で受付をしている。</p> <p>新植：21万円/10a 改植：23万円/10a 未収益期間経費補助：5.5万円/10a×4年間</p> 
中山間地域等直接支払交付金	<p>条件の不利な農地での農業継続を支援するための国の事業。農業者の団体で申請する交付金。農地の地目及び傾斜に応じて交付され、取組内容に応じてさらに加算がある。</p> <p>R6年度まで対象農地の転用などをせず、耕作を継続することが基本的な要件となる。</p> <p>※本交付金は個人配分だけではなく、農道の草刈や農協購買での機械貸出などの共同取組にも活用されます。</p>
環境保全型農業直接支払交付金	<p>有機農業等に取り組む農家を支援する国の事業であり、馬路村のゆず栽培は全体的に対象。</p> <p>ただし、GAPに関する研修を受ける等といった要件がある。</p> <p>交付単価：12,000円/10a</p>

年間の作業スケジュールのイメージ

	作業内容	
1月	カイガラムシ防除（マシン油500L 散布）	
2月	施肥（鶏糞ペレット20袋）・剪定	 施肥 （ゆず園）
3月	施肥（ゆず園8袋・120kg）・剪定	
4月	そうか病防除（Zボルドー500L 散布）	
5月	そうか病防除（Zボルドー500L 散布）	 草刈
6月	施肥（ゆず園8袋・120kg） 黒点病防除（I Cボルドー500L 散布） カミキリムシ防除（バイオリサスリム設置）	
7月	ミカンサビダニ防除（イオウフロアブル500L 散布）	
8月	黒点病防除（I Cボルドー500L 散布）	 ペレット 散布
9月	（青玉出荷）	
10月	施肥（油粕ペレット14袋・200kg）	
11月	収穫！（約2,000kg 程度）	 剪定
12月	剪定（翌年のために不要な枝を切る）	

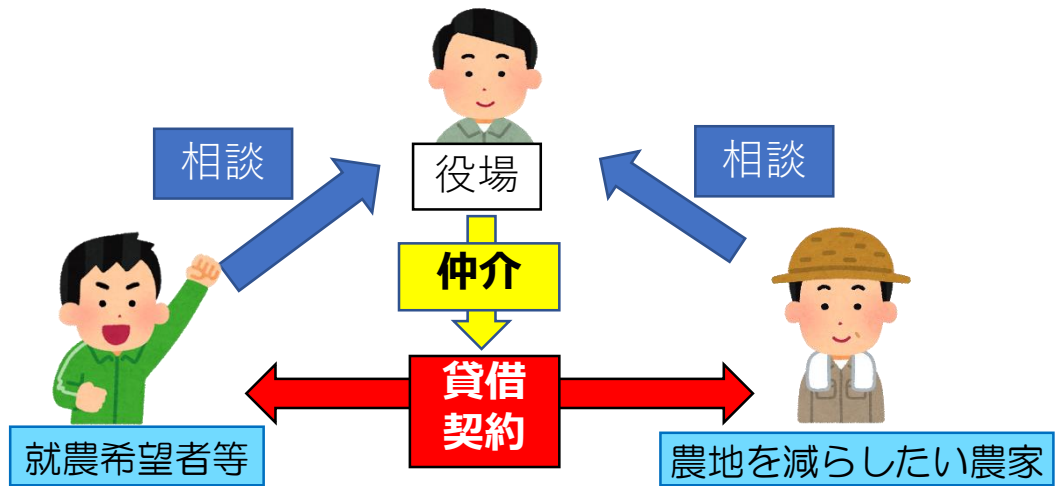
○ 防除・施肥の頻度や量等は個人差がありますが、上の表は農協推奨レベルで記載しています。

○ 草刈は、馬路村においては「ゆずの作業の中で一番大変！」と言う人もいるぐらいの重作業です。農協購買で貸し出している歩行型草刈機を活用する等、省力化に努めましょう。

農地を持ってない場合どうすれば？

役場地域振興課にご相談ください

村では、農地を貸したい・売りたいという農家さんと、借りたい・買いたい就農希望者の方の仲介・斡旋をしております。



■ 農地の価格や借賃の相場は？

・ゆず畑売買価格：70～80万円 /10a

→売買価格は、農地の条件や双方の事情によって大きく左右されるため、一概には言えません。あくまでざっくりと平均を取るとこれくらい、という感じです。

・ゆず畑借賃：1万円/10a

→農協ゆず組合の設定額になっている農家さんが多いようです。

※上記はあくまで参考です。実際の契約額は双方で相談の上決定してください。

営農のノウハウがないので不安・・・。

農協が営農に関する指導を実施したり、ゆず部会で講習会等を開催していますので、そこで基礎知識を身につけていきましょう。

また、村にはベテラン農家さんがたくさんいます。農家同士で情報交換しつつ、よりよい営農を目指しましょう。

問合せ先

補助事業や農地の取得に関すること

農業技術に関すること

馬路村役場地域振興課 井上

馬路村農業協同組合

電話：0887-44-2114

電話：

〒781-6201

安芸郡馬路村大字馬路443番地